

市立小中学校の規模適正化・適正配置に関する説明会概要（南郷小学校）

期 日：平成 27 年 9 月 18 日 19 時 00 分～19 時 30 分（PTA 役員会前）

場 所：南郷小学校 2 階 なかよしひろば

参加者：南郷小 PTA 役員 39 名、校長・教頭

【意見内容と回答】

◎男性

この近辺の 3 つの小学校の統合の話聞き、ゆくゆくは無くなってしまおうのはしょうがないと思っていた。子どもを最優先に考えてもらいたい。通学はここに書いてはあるが、できればもう少し細かく記していただけると分かりやすい。例えば、通学バスを出すというお話があったが、どの範囲でバスを出すのか。一人一人家の前から出すのか、まとまって停車位置を決めて対応していくのか。イメージとして書いてもらえればありがたい。

○教育総務課長

スクールバスの運行に関しては、先進事例を確認しているところですが、多くは統合決定後の準備期間の間に、地域の方、保護者、学校、教育委員会とかで統合に向けた準備委員会の中で、どういう回し方がいいのかという話し合いのうえで、場所や本数を決めていく。考えて方により保護者の意見も多数あり、ドアトゥドアで子供を学校まで通わせたいという意見もあるし、ある程度の集団登校の中で子供は育ていくという考え方で集合場所まではみんなで行くという意見もある。委員会の中で決めていければと思っている。バスに乗っている時間は 30 分が限界だと思っている。30 分で収まるようなバスの動かし方を考えて実際はやっていくような形になる。話し合いが進んだ中で、一緒に考えてもらいたい。

○学校教育課長

先ほど意見を伺った、子ども達の環境を最優先というのが本当に大事だと思います。結果として子ども達の数が減るから統合になる。第一に考えるのは子ども達の発達・成長段階に、きめ細かに接触していかなければならない段階については、そういうような学校運営ができるような教育環境。そして中学生くらいになれば、今まで説明があったように、他人を知るためには多くの友達との接点の中で、様々な価値観に触れて、自分と同じ価値を見出したり、違いを見出したりしていく中で、自分自身に気が付く。それが中学生段階ではすごく求められるものではないかと思う。そうすることによって、これから大変な社会になるだろう未来に、様々な課題に立ち向かっていける子ども達が育ていくのではないか。というのが基本的な根底にありますので、そういった方向性についてのご理解を是非してもらいたい。